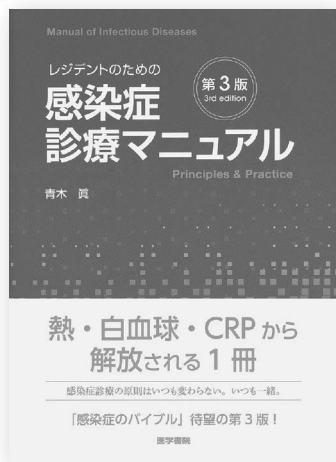


今月の特集関連本



レジデントのための感染症診療マニュアル

第3版

青木真＝著

本体 10,000 円＋税／A5 判・1536 頁／医学書院／2015

幅広い読者層に支持されてきた感染症診療のバイブル第3版。感染症診療の原則はいつも変わらない。熱・白血球・CRP に依存した感染症診療から自由になるための1冊。第一線で活躍する感染症医が協力執筆。感染症以外の疾患との鑑別など、総合診療にも役立つ。今こそ、感染症の基本的④を！



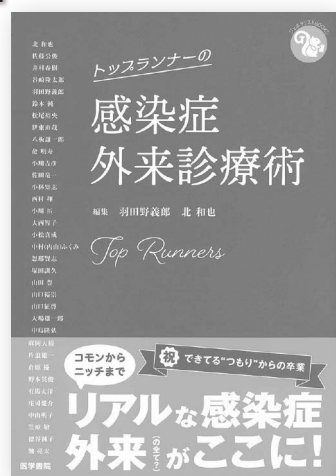
感染症レジデントマニュアル

第2版

藤本卓司＝著

本体 4,500 円＋税／B6 変判／496 頁／医学書院／2013

レジデントが直面する感染症に対し、まさに即、診療で役立つ知識をまとめたマニュアル。いっとうやって起炎菌を判断し、抗菌薬は何をどのくらい使うのか？ 使うにあたっての注意事項は？ 変更・終了の規準は？ 曖昧な判断で漫然と使われがちな抗菌薬を正しく使うための知識と、国際標準に即した考え方など、著者のノウハウが満載！ 臨床現場で活躍する若手医師からベテラン医師まで、広くお薦めする“感染症の定本”。



《ジェネラリスト BOOKS》

トップランナーの感染症外来診療術

羽田野義郎、北 和也＝編

本体 4,200 円＋税／A5 判・356 頁／医学書院／2019

外来で遭遇する感染症への基本的な対応から、ワンランク上の対応までをまとめた。この領域のトップランナーたちが、診療の基本からよりアドバンスなテクニックまでを自身の診療や過去の経験などを踏まえながら解説。著者の失敗談やそこから学んだことなどについても紹介しており、「本書を読めば外来で診る感染症診療の質が上がる！」と言っても過言ではない充実の内容。



#今月の特集関連本

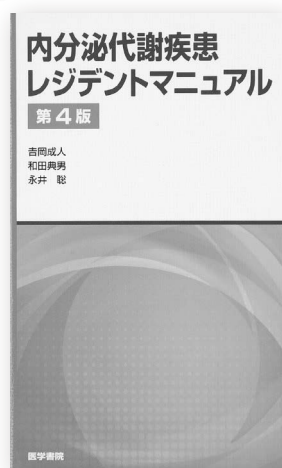


不明熱・不明炎症レジデントマニュアル

國松淳和＝編

本体 4,500 円＋税／B6 変判・498 頁／医学書院／2020

発熱の原因検索に日々対峙しているレジデントに向けて、絶対に熱源を得ることを諦めない気概で日々診療を行っている執筆陣の考え方と実践を詰め込んだ！総論では不明熱・不明炎症診療に関する病歴聴取・身体診察・臨床検査の基本を押さえ、各論では「不明熱にしていけない疾患」「不明熱的」と認識した後の初動～次の1週間で何をするか」「入院患者のよくわからない発熱（感染性、非感染性）」という切り口で解説。連載「臨床小説」（p.1159）の國松先生の本。p.1133 に書評あり。



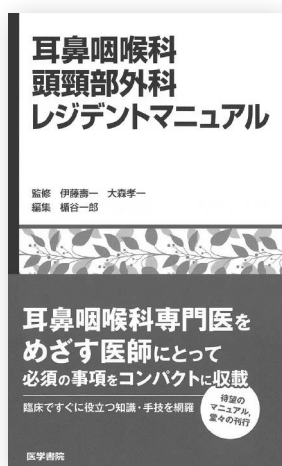
内分泌代謝疾患レジデントマニュアル

第4版

吉岡成人、和田典男、永井 聡＝著

本体 3,200 円＋税／B6 変判・384 頁／医学書院／2017

糖尿病は言うに及ばず、内分泌疾患も専門医だけが診る稀な疾患ではない。社会的にも関心の高い骨粗しょう症を含め、コモディティーズとしての内分泌代謝疾患の臨床を簡潔に解説した安定の第4版。甲状腺癌に対する分子標的薬、先端巨大症や原発性副甲状腺機能亢進症の治療薬の新たな保険適用、糖尿病の新しい経口薬、高齢糖尿病患者の代謝管理、血糖コントロール目標など学会ガイドラインの改訂にも対応。



耳鼻咽喉科・頭頸部外科 レジデントマニュアル

第4版

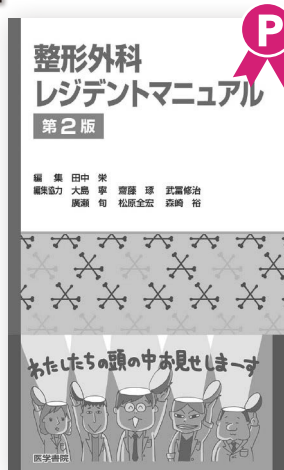
伊藤壽一、大森孝一＝監修

楯谷一郎＝編

本体 4,800 円＋税／B6 変判・432 頁／医学書院／2016

耳鼻咽喉科疾患の検査・診断・治療について、安全に医療を行ううえで必要な知識を実践的にまとめたレジデントマニュアルシリーズの1冊。耳鼻咽喉科専門医を目指す後期研修医・耳鼻咽喉科医を主たる読者とし、耳鼻咽喉科専門医にとって必要かつ臨床にすぐに役立つ知識をわかりやすく解説。また実際の診療の流れに即した実践的な構成で、耳鼻咽喉科新専門研修プログラムにも対応した内容となっている。

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート(p.1153)にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



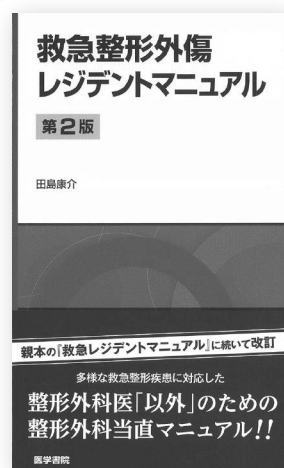
整形外科レジデントマニュアル 第2版

田中 栄＝編

大島 寧、齋藤 琢、武富修治、廣瀬 旬、松原全宏、森崎 裕＝編集協力

本体 4,500 円＋税／B6 変判・458 頁／医学書院／2020

東京大学整形外科で培われてきた経験をもとに、初期・後期研修医に向けて整形外科診療の基本をまとめたマニュアルの改訂版。好評を博した初版の流れを踏襲しつつ、整形外科診療の現況に合わせ、内容をアップデート！ 総論では整形外科医に必要な基本事項を、各論では日常診療のポイントやピットフォールを提示。エキスパートがどのように診断し、治療方針を立てているか、本書を通して一連の思考過程を学ぶことができる。

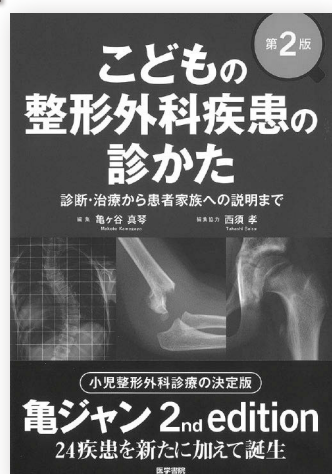


救急整形外傷レジデントマニュアル 第2版

田島康介＝著

本体 3,500 円＋税／B6 変判・192 頁／医学書院／2018

整形外科医以外のための整形外科当直マニュアル。本書さえあれば、当直中の整形外科疾患の対応には困らない。どの時点で専門医にコンサルトすればよいのかも判断できる。診療中に常備しておきたい整形外傷本の決定版！ 第2版では、6章「骨折」のX線写真をより典型的なものに更新し、7章「重症軟部組織感染症」を充実。9章「高齢者関連」を新設し、「骨脆弱性骨折」「非定型大腿骨骨折」などに関して追記。



こどもの整形外科疾患の診かた 診断・治療から患者家族への説明まで 第2版

亀ヶ谷真琴＝編

西須 孝＝編集協力

本体 9,000 円＋税／B5 判・432 頁／医学書院／2019

一般整形外科医や若手医師・研修医が日常外来で遭遇する小児の整形外科疾患の診かたについて、患者家族からよく寄せられる質問に対する模範回答例をはじめ、専門医への受け渡しのタイミングを含む診断・治療の流れを初学者向けにわかりやすく解説して好評を得た書籍の改訂版。今版では、初版の40疾患を最新の情報へとアップデートしたのに加え、さらに幅広い疾患に対応できるよう、全体で64もの小児の整形外科疾患を取り上げている。